

科目名：描写

No.	到達目標	評価基準				
		S (極めて高い水準で達成している)	A (高い水準で達成している)	B (標準的な水準で達成している)	C (最低限の水準で達成している)	D (未達成である) 1つでもあてはまれば不合格
1	対象の形態・質感・色彩を客観的に描くことができる。(C-2)	全ての対象の形態・質感・色彩を全項目客観的に描くことができる	全ての対象の形態・質感・色彩を複数項目客観的に描くことができる	複数の対象の形態・質感・色彩を幾つかの項目において客観的に描くことができる	一部の対象の形態・質感・色彩を一部の項目において客観的に描くことができる	対象の形態・質感・色彩を客観的に描くことができない
2	ものの存在する空間を客観的に描くことができる。(C-2)	ものの存在する空間を説得力のある客観性を持って的確に描くことができる	ものの存在する空間を客観性を持って的確に描くことができる	ものの存在する空間を客観的に描くことができる	ものの存在する空間を客観的に描くことができる	ものの存在する空間を客観的に描くことができない
3	イメージや情報を的確に伝えることのできる描写表現の手法を理解できる。(C-2)	イメージや情報を的確に伝えることのできる描写表現の手法を多数挙げられる	イメージや情報を的確に伝えることのできる描写表現の手法を複数挙げられる	イメージや情報を的確に伝えることのできる描写表現の手法を理解できる。	イメージや情報を的確に伝えることのできる描写表現の手法を最低限あげられる	イメージや情報を的確に伝えることのできる描写表現の手法をあげられない

評価方法	
作品①	作品②
○	○
○	○
○	○